キヤノングローバル戦略研究所・大阪大学産業科学研究所　シンポジウム

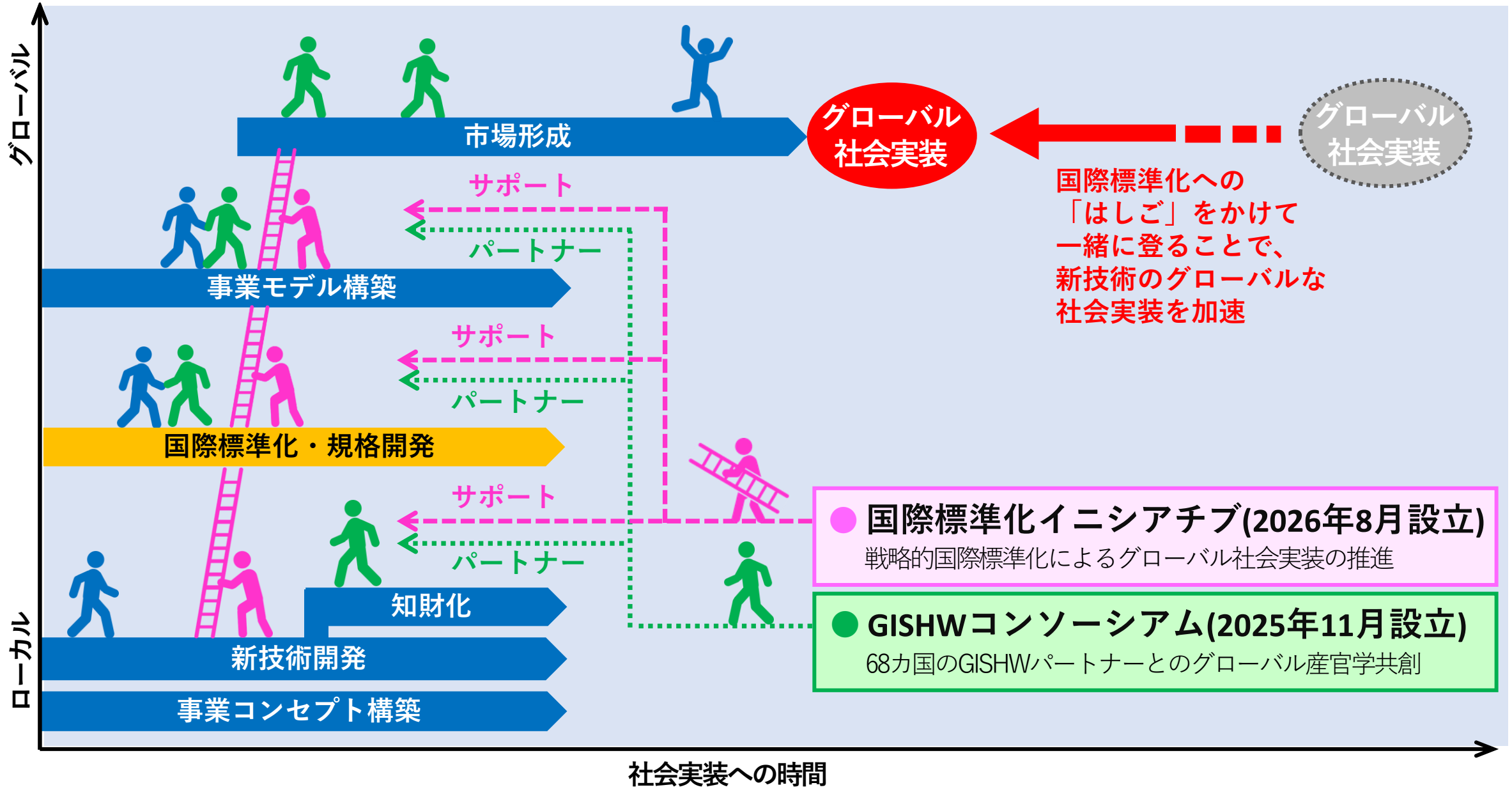
新たなる国際標準化戦略
- 産研 国際標準化イニシアチブの始動 -



2026年11月13日

大阪大学 産業科学研究所　国際標準化イニシアチブ
小倉基次

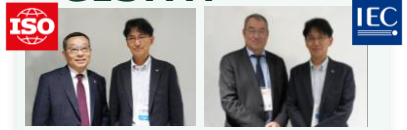
国際標準化活動による新技術のグローバル社会実装へ



レガシーを継承し、国際標準化に「伴走」、新産業と標準化人材を育てる

2025年 4～10月

大阪・関西万博 GISHW



ISO会長・IEC会長が来訪し、標準化を万博のレガシーとする流れができた

2025年11月

GISHWコンソーシアム設立



68か国のパートナーとつながる産官学共創のネットワークを確立

2026年6月

経済産業省 OCEAN採択



オープン＆クローズ戦略体制整備を申請・採択

2026年8月

産研国際標準化イニシアチブ設置

SANKEN 国際標準化イニシアチブ

技術シーズの標準化実践・人材育成・人的ネットワーク形成を推進

2026年 12月3～4日

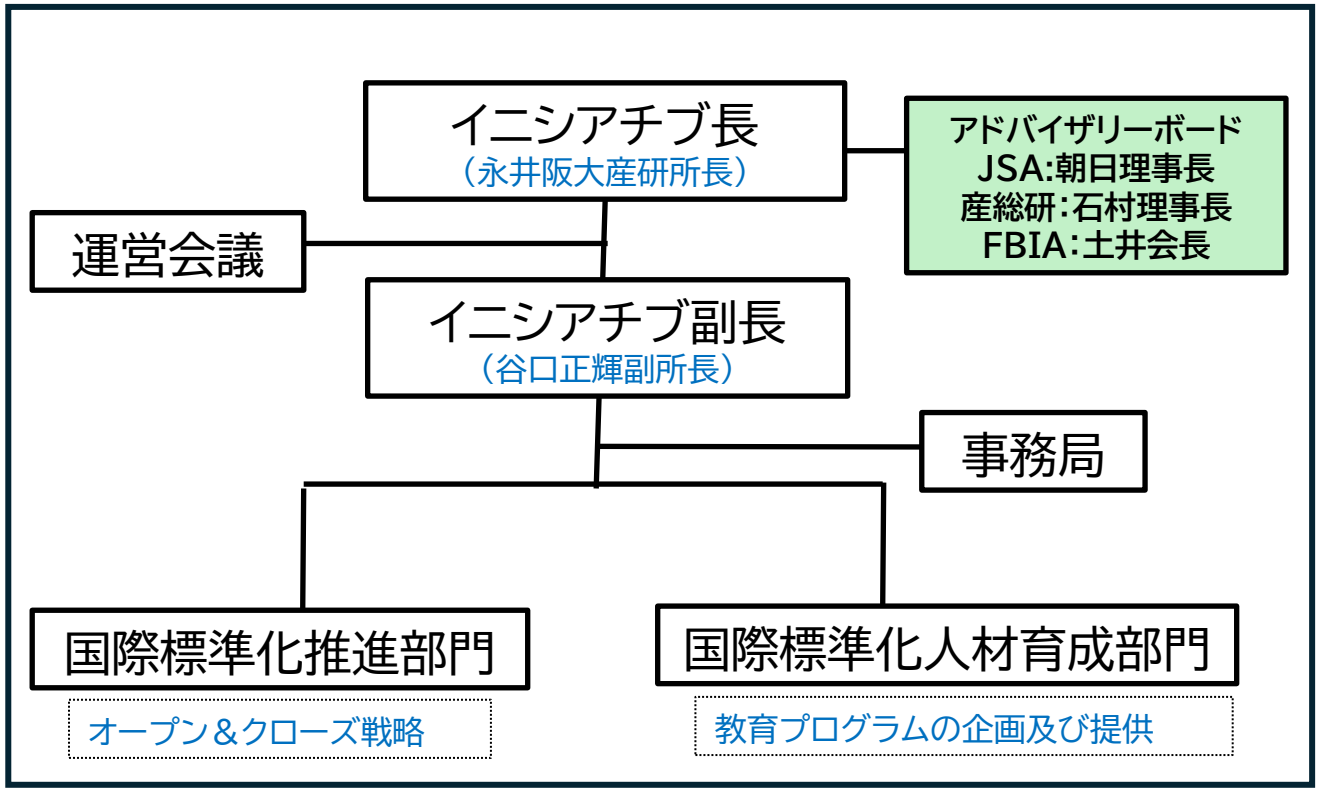
国際標準化フォーラム／GISHWテックシンポジウム

国内外の標準化関係者が集う場



（阪大産研）国際標準化イニシアチブ」の設置について

- 令和8年6月末、経済産業省・OCEANプロジェクト採択。本学にオープンクローズ戦略体制整備として、国際標準化センターの設置を申請。全学体制整備（大阪大学標準化センターの設置）の推進基盤として、本学産業科学研究所内に「国際標準化イニシアチブ」を8月1日付けで設置し、先導的な技術シーズの国際標準化の実践、人材育成、国内外の人的ネットワーク形成をOCEANプロジェクトとして具体的に進めている。
- 日本規格協会（朝日理事長）、産総研（石村理事長）,FBIA（土井会長）には、アドバイザリーボードへの就任をご快諾いただいており、国際標準化のパートナー作り、国際標準化の専門家による人材育成（教育プログラム、リカレントプログラム）等を推進していく。




大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

2026年９月１日

＼日本の技術を“世界標準”で実装／
標準化人材育成と大学発技術の
グローバル市場形成を推進
ペプチドシークエンサー研究が OCEAN プロジェクトに採択

❖ 概要

2026 年 8 月 24 日、大阪大学は、同産業科学研究所の谷口正輝教授が研究統括を務める「ナノセンシングシークエンサーの研究」に関する特定新需要開拓事業活動計画において、経済産業省の特定新需要開拓事業活動計画認定制度（OCEAN プロジェクト）の共同実施者に認定されました。（認定事業者：ソニーグローバルマニファクチャリング＆オペレーションズ株式会社、共同実施者：国立大学法人大阪大学）。OCEAN プロジェクトは、大学と企業による戦略策定を支援することで、共同研究の初期段階から「世界標準」を見据えた社会実装と国際競争力の強化を後押しするものです。今回の OCEAN プロジェクトの認定により、谷口教授が研究開発を進めるペプチドシークエンサー技術の市場における国際標準化を日本がリードするための重要な第一歩となることが期待されます。

ナノセンシングシークエンサー研究の概略図

また、これに先立ち 7 月 17 日には、同じく共同研究を進める株式会社ドリームインキュベータを含む３機関で、令和 8 年度「基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業」にも採択されています。本事業において大阪大学は、企業とのオープン＆クローズ戦略の策定と並ぶもう一つの柱として、教育機関である大学ならではの国際標準化人材の育成に取り組みます。

加えて、8 月 1 日、産業科学研究所は、今回の OCEAN プロジェクト認定に合わせて国際標準化を支援するための新組織である「国際標準化イニシアチブ」を設立しました。国際標準化イニシアチブでは、International Organization for Standardization（ISO、国際標準化機構）や International Electrotechnical Commission（IEC、国際電気標準会議）での国際標準化に向けて、さまざまな国々の企業・団体・大学との連携推進に必要な多文化環境での合意形成能力、技術議論能力を養成するリカレント（リスキル）プログラムの開発、提供を予定しています。

1 / 3



2026年7月28日
日刊工業新聞1面トップ
に掲載

特色1：我が国の国際標準化を牽引する第一線専門人材

講師陣（招へい教授、客員教授等）

- **藤田 俊弘**　日本認証（株）代表取締役会長
- **綾 信博**　ISO/TC281 委員長／AIST Solutions コーディネータ
- **梶屋 俊幸**　IEC/IECEE 認証管理委員会 副議長／セーフティグローバル推進機構 理事
- **吹田 和嗣**　トヨタ自動車・川崎重工出身、ロボット協調安全（ISO/TC299）
  大同大学教授
- **菅沼 克明**　大阪大学名誉教授、導電性接着剤等で国際標準化の実績多数
- **谷川 民生**　産業技術総合研究所 ウエルビーイング実装研究センター長／フィジカルAI・データ連携基盤
- **江藤 学**　日本規格協会フェロー、標準化人材育成の全般設計
- **栗原 潤**　ハーバード大学ケネディスクールでの10年の経験／GISHWメンバー

年間の活動

- **標準化伴走支援（課題共創）**　随時
  標準化可能性・オープン＆クローズ設計の共同検討
  国際標準化による事業創成の伴走
- **国際OJT研修**　年1～2回（現地/オンライン）
  国内審議団体への委員登録、
  国際標準化会議（ISO/TC281 等）への**同行型OJT研修**
- **国際連携ネットワーキング**　年数回（阪大/現地/オンライン）
  国際機関・グローバル企業・アカデミアの幹部との
  ネットワーキング（交流会）を企画・提供
- **国際標準化フォーラム**　隔年開催（第1回：2026年12月）
  国内外の国際標準化活動への参画者が集う、
  大阪大学主催の万博レガシーイベントで隔年開催

特色2：GISHWと協働し、世界68か国とつながるプラットフォーム

グローバル社会実装を加速

BEFORE



日本で従来一般的な
産官学連携

AFTER





Participants from 68 countries/regions!


国際標準化による事業創成
戦略立案・推進
国際標準化人材育成
（新規テーマ）戦略立案・推進
OJT(実戦参加による早期体験実習)
人材教育
国際標準化
イニシアチブ
永井
谷口
事務局
小倉
GISHW
コンソーシアム
藤田
吹田
事務局
小倉
栗原
Ocean(1) (2)
Emerging Technologies
藤田
Bio Technologies
谷口
JAMSTEC
Deep Ocean & Space Technologies
谷口
高野
Fine Bubble Technologies
綾
Well-being Technologies
梶屋
吹田
谷川
要員
資格
認証
仕組み
梶屋
人材教育
ワークショップ
江藤
谷川
海外企業・
国際機関連携
の人材教育
藤田
吹田
栗原
国内
Global
ISO/TC281
IEC ACOS
IECEE

国際標準化の専門家による人材育成(産学官のリカレントプログラム)等

■ MENU ｜ ご支援のオプション

オプション1:標準化テーマの事業創成まで伴走支援(伴走型)

期間　中～長期（3～5年以上）
費用　オーダーメイド、個別設計

1 標準化伴走支援(課題共創)

① 各社で標準化を推進したい技術テーマについて、産研イニシアチブの**専門家と共同で戦略を検討(ハンズオン)**
② 標準化活動に必要な国プロの獲得、**標準化に必要な産業団体の設立、既存の国内・国際審議団体の加入等支援**(事業計画を協議し、マイルストーン契約)

2 国際連携ネットワーキング

① **国際機関・グローバル企業・アカデミアの幹部とのネットワーキング**(交流会)を企画・提供
② 経営に役立つ国際動向を提供(規制・適合性評価などについて、どの規格がいつ動き、どのような論点が争われているか)

3 国際標準化の現場でのOJT

① 国内の第一線で活躍する講師陣が**ISO/TC281委員会等に同行し、OJTを実践**
② 国際標準化会議での**評決の現場や裏舞台など臨場感のある国際交渉の実務を経験**

オプション2:標準化専門人材を育成する(人材育成型)

期間　短期～中期（1～3年）
費用　オーダーメイド、個別設計

1 国際標準化のワークショップ

① 各社のニーズに対応した専門講師を派遣し、**国際標準化の人材教育ワークショップを行いOJT研修への参加に向けた研修を企画、提供**

2 国際標準化の現場でのOJT

① 国内の第一線で活躍する講師陣**ISO/TC281委員会等に同行し、OJTを実践**
② 国際標準化会議での**評決の現場や裏舞台など臨場感のある国際交渉の実務を経験**



ISO/TC281:2026年8月(米国)



ISO/TC281ネットワーキング
:2026年8月(米国)

＜OJT参加教員の感想＞
実際に標準化プロセスを体感し、成功例・失敗例も目の前で見ることができ、大変勉強になりました。

◆ 標準化専門人材の育成イメージ

送り出した1名を、3年で「当事者」に育てる（人材育成型の場合）

1年目　現場に触れる

- 国際標準化ワークショップで基礎（オープン＆クローズ戦略）を習得
- **審議団体（FBIA等）の委員として登録し、意見形成に参加**
- 国際会議（ISO/TC281等）に1年目から参加（オンライン含む）

〈成功例・失敗例を目の前で見る〉

2年目　交渉の実務を経験する

- 日本代表団のオブザーバーとして現地に同行
- 評決の場や会議外の折衝など、議事録に残らない実務を経験
- **各国の立場と論点の読み方、合意形成の進め方を体得**

〈お互いの強み・性格を知る信頼関係の構築〉

3年目　当事者として発言する

- **国際会議で交渉実務に従事できる人材へ**

〈新規提案から規格承認までの各段階で合意形成の実務を担当〉

EXPO Legacy Event Schedule 2026

December 2(Wed) | December 3(Thurs) | December 4(Fri)

ROBONEXT Exhibition



GISHW Tech Forum

13:00–16:30@ 展示会場ステージ

日刊工業新聞社 The Nikkan Kogyo Shimbun

Japan Robot Association



IEEE ISR/SIAS International Conference

IEEE Advancing Technology for Humanity

NECA

SIAS 2026

SIAS

ISR ： Intelligence and Safety for Robotics
SIAS ： Safety of Industrial Automated Systems

Int'l Standardization Forum
国際標準化フォーラム

10:30–16:50@ Hall H, INTEX Osaka

大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA

JSA Standards that connect the world: JAPANESE STANDARDS ASSOCIATION SINCE 1945

GISHW Tech Symposium

10:30–13:00@ Hall H, INTEX Osaka

大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA

SANKEN THE UNIVERSITY OF OSAKA

RAIS REAL INNOVATION

JSA Standards that connect the world: JAPANESE STANDARDS ASSOCIATION SINCE 1945

SAFETY IGSAP The Institute of Global Safety Promotion

Global Initiative For Industrial Safety

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE

Networking Reception

17:00–18:30@ Hall G, INTEX Osaka

2026年「国際標準化フォーラム」

2026年12月3日(木) @Hall H, インテックス大阪
(Japanese or English with AI-empowered simultaneous translation)

ファシリテーター：大阪大学産業科学研究所 特任教授 小倉基次

10:30-11:00 **開会の挨拶**（30 min）
大阪大学 総長 熊ノ郷淳
経済産業省 イノベーション・環境局国際標準課長 中野真吾氏
日本規格協会 理事長 朝日弘氏
産業技術総合研究所 副理事長 小原春彦氏

11:00-12:00 **セッション1**（1H）
フィジカル*AI*＆協調安全＆ウェルビーイングテックにおける国際標準化
司会：IGSAP 理事 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 梶屋俊幸
スピーカー：三菱電機 知的財産センター グループマネージャー 三好淳之氏、
IEC 副会長 Steven Margis氏、
AISTウエルビーイング実装研究センター 研究センター長
大阪大学産業科学研究所 招へい教授 谷川民生
社会的法定災害保険・労働安全衛生研究所 (IFA) インテリジェント・
テクニカル・システムズおよび労働環境部門長 Thomas Bömer氏

12:00-13:00 **セッション2**（1H）
バイオテクノロジー＆ペプチドシークエンサにおける国際標準化
司会:大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治
スピーカー：JMAC事務局長 中江裕樹氏、(株)DNAチップ研究所 副社長 執行役員
CSO 的場亮氏、大阪大学産業科学研究所 副所長 教授 谷口正輝

13:00-13:45 昼食・休憩

13:45-14:45 **セッション3**（1H）
ファインバブル技術における国際標準化
司会：大阪大学産業科学研究所 招へい教授 藤田俊弘
スピーカー：NEDOイノベーション戦略センターフェロー 福島国際研究教育機構エネルギー
分野長 矢部彰氏、MTG 社長 松下剛氏、AIST Solutions
コーディネータ 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 綾信博
大阪大学産業科学研究所 准教授 荒木徹平

14:45-15:45 **セッション4**（1H）
海洋―地球―惑星システム *JAMSTEC*における国際標準化ー
宇宙探査技術（小惑星探査はやぶさ）及び
海洋資源（南鳥島レアアース）への取り組み
司会：日本規格協会フェロー 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 江藤学
スピーカー：JAMSTEC 上席研究員 高野淑識氏、(株) 本田技術研究所
先進技術研究所 安全安心・人研究領域 チーフエンジニア
光澤茂信氏、JAMSTEC 上席研究員 諸野祐樹氏

15:45-16:00 休憩

16:00-16:45 **セッション5 パネルディスカッション**（45 min）
日本におけるこれからの国際標準化活動と国際連携
司会：日本規格協会 理事 野田耕一氏
スピーカー：経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課長 中野真吾氏、
日本規格協会 理事長 朝日弘氏、産業技術総合研究所
副理事長 小原春彦氏、大阪大学産業科学研究所 招へい教授
藤田俊弘、大阪大学産業科学研究所所長 教授 永井健治

16:45-16:50 **閉会の挨拶**
大阪大学 執行役・副学長 飯村亜紀子

17:00-18:30 **意見交換交流会**（1H30min）【会費制】
会場：Hall G, インテックス大阪
挨拶：大阪大学 理事・副学長 藤尾慈
大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治
締めの言葉：大阪大学 理事・副学長 尾上孝雄

フォーラム/意見交換交流会申込み

フォーラム 参加申込みURL: https://robonext.nikkan.co.jp/webinar/detail/2144
意見交換交流会 参加申込みURL:https://forms.gle/VjX92Fq2J7BiHYa88

※本企画は、令和8年度「基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進体制整備強化に向けた実証調査事業（経済産業省）」として実施されます。

2026年「GISHW Tech Symposium」

2026年12月4日(金) @Hall H, インテックス大阪

(Japanese or English with AI-empowered simultaneous translation)

ファシリテーター：大阪大学産業科学研究所 客員教授 栗原潤

10:20-10:30 **開会の挨拶**

大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治

日本規格協会 理事長 朝日弘氏

10:30-11:05 **セッション1** （35min）

大阪を拠点とした万博レガシーの取り組みと大阪大学の役割と世界との繋がり

スピーカー：GISHW チェア 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 藤田俊弘

大同大学教授 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 吹田和嗣

ファナック株式会社ロボット研究開発本部技師長 森岡昌宏氏

SHIN-JIGEN 代表取締役社長 岡本球夫氏

11:05-11:45 **セッション2**（40min）

フィジカルAI 時代の協調安全を巡る標準化政策

JSA、IEC、BSI、Cambridge大学の視点

スピーカー：日本規格協会 理事 野田耕一氏、

IEC 副会長 Steven Margis氏、

英国規格協会(BSI) グローバル担当代表 Kate Field氏、

ケンブリッジ大学インダストリアル・イノベーション・ポリシー(CIIP)及び産業安全イニシアチブ(GIFIS) ポリシー・アナリスト

Francisco Veiga-Pereira氏

11:45-11:55 **休憩**

11:55-12:55 **セッション3**（1H）**パネルディスカッション**

協調安全、AI・ロボティクスにおける Cambridge 大学と大阪大学を中心とした連携

ーグローバル産官学連携による新産業立国を目指してー

(Working language: English, with AI-empowered simultaneous translation)

モデレーター:大阪大学産業科学研究所 客員教授 栗原潤

パネリスト ：ケンブリッジ大学インダストリアル・イノベーション・ポリシー (CIIP) ユニット部門長及び産業安全イニシアチブ(GIFIS) Carlos López-Gómez氏、

IEC 副会長 Steven Margis氏、

大阪大学産業科学研究所 招へい教授 梶屋俊幸、

英国規格協会(BSI) グローバル担当代表 Kate Field氏、

ファナック株式会社ロボット研究開発本部技師長 森岡昌宏氏

12:55-13:00 **閉会の挨拶**

大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治

参加申込みURL: https://robonext.nikkan.co.jp/webinar/detail/2145

※本企画は、令和8年度「基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業（経済産業省）」として実施されます。

THE UNIVERSITY OF OSAKA

SANKEN 大阪大学 産業科学研究所



SANKEN 大阪大学 産業科学研究所

国際標準化
イニシアチブ

SANKEN International Standardization Initiative

ご清聴ありがとうございました。